

平成27年度岡山県農林水産総合センター森林研究所（木材加工研究室）

試験研究課題評価票

<事前評価>

総合評価凡例 5：優先的に実施することが適当 4：実施することが適当
 3：計画等を改善して実施することが適当 2：実施の必要性が低い
 1：計画等を見直して再評価を受けることが必要

課題名	木質バイオマス燃料の乾燥状態の向上に関する研究						
課題の概要	燃料用木材を林地で乾燥し、燃料として有効利用するため葉枯らし処理の手法を取り入れ、その効果と具体的な乾燥方法について検討する。						
評価結果	区分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	必要性	4人	2人	人	人	人	4.7
	有効性	人	6人	人	人	人	4.0
	効率性・妥当性	2人	3人	1人	人	人	4.2
	総合評価	2人	4人	人	人	人	4.3
助言・指摘事項等	1 色々な視点から経済的なものを見つけていただきたい。 2 各地で木質バイオマス発電が本格化する中で、高品質の燃料を安定的に供給することが大切になる。 3 この研究はチップ化前の乾燥についての研究である。チップ化後の乾燥についても含めて総合的に研究してほしい。 4 葉枯らしという省エネ手法で新たな展開が生まれることを期待している。 5 葉枯らし処理でコストがどうなるのか？この研究はやはりコストが大きいように思われる。						

試験研究課題評価票

< 中間評価 >

総合評価凡例 5：優先的に継続することが適当 4：継続することが適当
 3：計画変更して継続することが適当 2：継続の必要性が低い
 1：中止すべきである

課題名	内装用木材の含水率管理技術の開発						
課題の概要	今後住宅の内装材には木材の利用が増加することが期待されるが、内装材の最適な仕上がり含水率については十分データは得られていない。このため内装材の含水率管理技術を確立し今後の需要拡大に資する。						
評価結果	区分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	目標達成可能性	1人	3人	2人	人	人	3.8
	//（阻害要因）	2人	2人	2人	人	人	4.0
	必要性	2人	4人	人	人	人	4.3
	有効性	1人	5人	人	人	人	4.2
	効率性・妥当性	1人	4人	1人	人	人	4.0
	総合評価	3人	3人	人	人	人	4.5
助言・指摘事項等	<p>1 研究成果は出ている。木材が健康に適しているかどうかも研究願いたい。</p> <p>2 20年以降住宅の性能で差別化を図ることが難しくなる中、品質の優れた内装材は地場工務店だけでなく、大手ハウスメーカーでも採用が増えると予想され、必要な課題。</p> <p>3 大変貴重な基礎的な研究である。さらなる研究進展を望む。</p> <p>4 色々な発展の方向があると思う。定量的な成果が得られるよう、期待している。</p> <p>5 研究成果をどのように県民に知らせるのか？</p>						